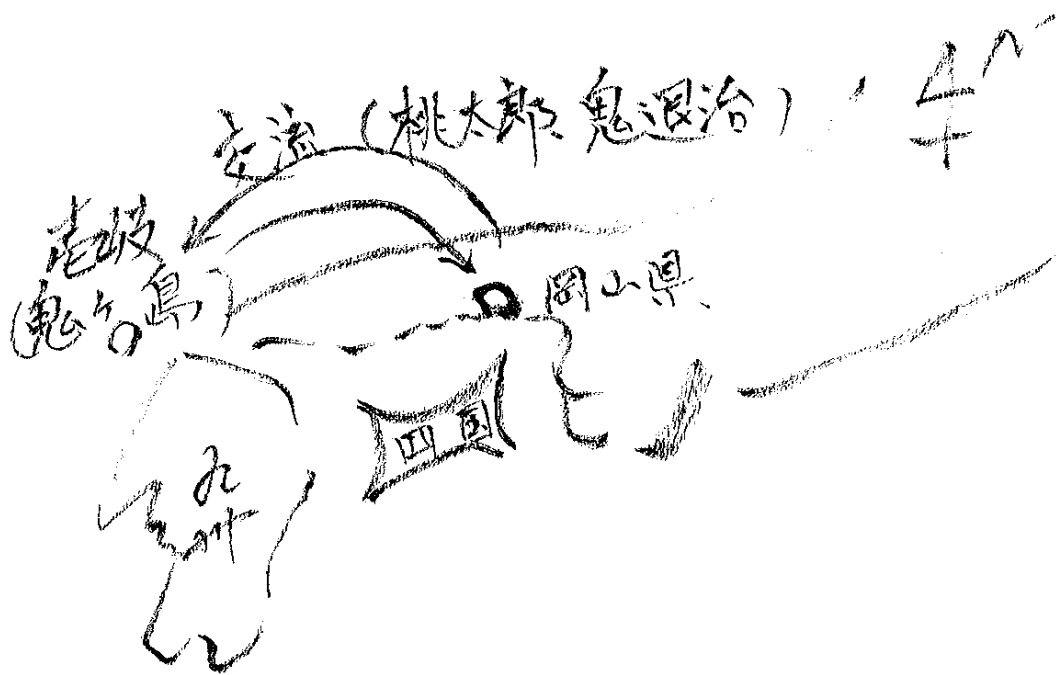


※ 暗く殺伐たる世相に
又メテアの協力を得て
エニア太夫りの夢興し。



※ ふたつの地域の特性を結び
つけた夢おし物語。

地域の特性を結びつけた、島興し、地域興し、観光振興のための話題づくり

@ 長崎県、壱岐 と 岡山県 編 @

1 アイデアの概要

- ① 毎年、年末になると清水寺にて、その年を象徴する漢字が揮毫される。

(マスメディアは必ず報道)

- ② 長崎県壱岐市(島)には鬼の足跡が、その伝説と共存。「鬼ヶ島」とも呼ばれる。また焼酎、海産物も古くから作られ進化している。
一方、岡山県は桃太郎伝説があまりにも有名、キビ団子は古典的な土産品である。

- ③ 二つの地域が交流して(桃太郎の鬼退治観光など)、清水寺のその日、
壱岐では、オニ語=その年の良くない(退治したい)
できごとを象徴する漢字、
岡山では、モモ語=好ましい事象を象徴する漢字
をそれぞれ揮毫する。

また、鬼退治(ゲーム)などの情景をもテレビ放映してもらい、茶の間に壱岐と岡山の食文化、ユーモア、話題性を提供して注目を受け、観光の活性化を図ろうというもの。

2 具体的方策

- ① 各自治体の動機付け、観光業界との打ち合わせ、情報収集、意見交換。
例えば、市役所観光課でプロジェクトチームを立ち上げリードさせる。
- ② 象徴となる漢字は観光客が決定する。
訪れた観光客にアンケート用紙配布。一定量集まれば港、旅館、民宿などに掲示して興味、笑い、参加意識の拡大を図る。
- ③ 地域住民の参加意識高揚のため、ゲーム(鬼退治など)の演出は各住民からアイデア募集。漢字を揮毫する者も住民の知恵で選出。
- ④ メディアへの連絡協調。

@@@ 観光活性化のための話題性づくり、企画 @@@

テーマ 壱岐と岡山のオニごっこ

@ イメージたもれ @

平成〇〇年 12月 壱岐市 某所にて ～～テレビ中継～～

美人アナ ①「まもなく、京都は清水寺にて 今年を象徴する漢字一字が揮毫されます。ここ壱岐市では同じくことし一年のオニを象徴する 漢字 が、まさに今発表されようとしています。」

②「歴史と観光と味覚とユーモアの島、この壱岐市にはいつの時代か、鬼 が遠方からやってきて人々を困らせたこともあったようです。地名が残ります。

* 鬼の岩屋 * 鬼の足跡、、、 』

③「岡山県からは今回も 桃太郎部隊がやってきて、鬼を見つけて退治せんと意気軒昂、武者ぶるっています。

(桃太郎にインタビュー)

Q 1 そもそも壱岐の島にこられたきっかけは？

A 観光を通しての交流です。そしてユーモアの提供、というか壱岐市民と観光客の遊び心でしょう。

Q 2 ユーモア、ですか？

A 鬼ヶ島、とも呼ばれるロマン溢れる壱岐の島には多くの観光客が訪れるとか。その方々に

* あなたの今年のオニとは。。。 *

というアンケートがとられたそうです。

Q 3 そのアンケートで今年の鬼が決まり、鬼退治ですね？

A ハイ。勿論、オニは個人を特定するようなものではなく広く人々を困らせた事象などが選ばれるそうです。

ワタクシ的には壱岐の焼酎や料理も退治したいのですが、、

「以上、お腹の空いた桃太郎でした。」

④「広場にはいくつか的が準備されています。的に当てる玉をもった方達が今や遅しと待っています。鬼の的を外しても豪華賞品が、えーと、壱岐焼酎、ウニやアワビ漬けのセット、オンダコという蛸の薫製、、、 などなどいっぱい、ワーおいしそう、、、、」

——中継はまだまだ続く——